

## 目標達成計画

作成日: 令和元年10月4日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議の開催において、地域や同業の有識者の方々など幅広い関係者の集まりの会となっていますが、社外の医療関係者の参加がなされていない。	高齢者医療の観点からも、社外の医療従事者の意見等を取り入れた集まりになるようにする。	協力連携医療機関である「さざなみクリニック」「ひがしデンタルクリニック」「げんき薬局」の方々に対して、事前に開催日程を伝えて連携を図れるように調整する。 参加が難しいようであれば、社内看護師とも連携して医療面についてより深く話し合えるようにする。	6ヶ月
2	35	災害対策において、消防局等の協力も得ながら年2回の訓練はおこなわれているが、利用者のADL状況に応じた避難誘導方法がすぐに判断できる状況になっていない。	災害時において職員が利用者のADL状況を即座に判断して避難誘導できる体制を構築する。	利用者のADL状況を3色で3段階評価として、それらを居室のドアの建具にシールで表示するなどし、新しい職員でもすぐに対応することが出来るように教育する。	6ヶ月
3	10	家族等の意見の反映において、毎月の近況報告を手紙で行うなどしているが、今後さらに管理者、職員を含む関係者が、家族との距離感を良好に維持できるようにしたい。	家族から好評の頂ける手紙を作成するようしながら、関係性を構築し、より良好な距離感で意見を交換しあえる事業所となる。	送付する手紙の中で苗字だけとなっていたものをフルネームで記載するようにする。さらに簡易な職員PRも送付するなどして、より「見える化」をおこなって安心できる事業所とする。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。